



▲ Paris Collection RICK OWENS, Fall/Winter 2015

世界中のコレクションで活躍

アイスホッケーからモデルの道へ Taikiさん

「自分を磨く」向上心

ファッションモデルTaikiさん(本名高橋大樹、平21法)は写真集が注目を集めている。Taikiさんは世界の一流モデルが集まるパリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン、東京の5大コレクションに出演、世界的に活躍している。身長186センチ、ステイジでは髪の毛を剃って坊主頭で登場。身長、体型のバランスに加え個性、表現力などが高く求められるファッションモデルの中にあって、鮮烈な「童顔、坊主頭のTaiki」は、各コレクションでひっぱりだこだ。

札幌市出身。小2から始めた「氷上の格闘技」アイスホッケーに夢中になった。専大でもアイスホッケー部に所属。ポジションはセンター。4年次には主務を務めチームワーク作りに貢献した。

ゼミは刑事政策の岩井直子ゼミ(現名誉教授。教養ゼミでは自己理解がテーマの角田真紀子ゼミで学んだ。「充実した学生生活でした」)

モデルになろうと決意したのは就職活動中。「真面目」「負けず嫌い」「努力家」とコトコト型の性格だと自己分析する一方「さらさらした仕事をして、注目を集めたい」という強い思いもあった。

「もともとファッションに興味を持っていました。モデルはその人の内面性が表れる。向上心が強く、自らを磨きたい自分に向いていると思いました」

ニューヨークに渡りファッション系に強いエージェントを自分の足で探し回った末、2011年秋、ニューヨークコレクションでいきなり海外デビューを果たした。以来、パリ、ロンドン、ミラノ、東京と順調に舞台の場を広げ、海外雑誌にも頻りに登場するようになった。現在ロンドンに滞在中。ロンドンコレクションや撮影の仕事に追われている。「モデルとしてのキャリアアップは人生のステップアップにつながる。これからもチャレンジを続けたい」

専大杖道 都大会で活躍

杉崎・加藤組 3連覇 幕田・日向組 2連覇



▶ 二段の部優勝の杉崎・加藤組



▶ 一級以下の部優勝の幕田・日向組

専大勢活躍―第27回東京都杖道大会(東京都剣道連盟主催・東京新聞など後援)が7月18日、東京・足立区の東京武道館で開かれ、専大杖道会は、全8階級(七段〜一級以下の部)のうち2階級で優勝した。二段の部優勝の杉崎千春(法3)

加藤さんは専大杖道会の代表を務める。「存分に成し遂げた。」

加藤さんは専大杖道会に稽古に励んできました。先生方や先輩の素晴らしい指導のおかげです」と話す。

創部16周年の専大杖道会は、経験豊富な指導陣に支えられている。顧問の宇都築子人間科学部教授(錬士六段)をはじめ、古川瞬也師範(範士八段)、榊井一之副師範(教士七段)、上田敦子副師範(同)というトップから直接指導を受けている。同会の卒業生も折にふれて指導に訪れ、後輩たちの面倒を見ている。

生田キャンパスの稽古場のほか、東京・千代田区にある日本経済新聞社杖道部に出稽古するなど自主稽古の機会も豊富だ。加藤さんは「次の全日本杖道大会(10月11日・神戸市)でも思い切った演武をしたい」と意欲を燃やす。

他の専大入賞者は次のとおり(敬称略)。

【五段の部】2位 秋山悟(平18文)・中村美代子(日本武道館)

【初段の部】2位 岡田博希(文2)・岩崎真和(経済2)

※杖道は、400年の歴史を持つ棒術の一種。防具を使わず、2人1組で立ち向かい、指定された立ち合いの形を2組が同時に演武、正確さ、速さ、鋭さなどを競う。

クリーンタウン2015

【Clean Town 2015】が7月4日、神田・生田両キャンパス周辺で実施された。多くの学生、教職員や地域の方々が参加し、その日のTシャツに身を包んで、清掃活動を行った。

【神田キャンパス】学生、卒業生、教職員に加え、神田警察署や地元・神保町の商店街である北神町会、神三町会の方々にも協力いただき、200人以上が参加した。専修大学ボランティア推進委員会傘下団体の専修神田ボランティア(SKV)のメンバーを中心に九段下、水道橋、神保町の3エリアに分かれ、大通りから路地を回り、町の美化に取り組んだ。SKVの山口隆介代表

【生田キャンパス】生田キャンパス周辺の地域貢献活動として実施された。活動を通して地域のみなさんと話した。

【生田キャンパス】体育会の地域貢献活動として実施された。活動を通して地域のみなさんと話した。



▶ 神田キャンパス周辺を清掃する参加者



▶ 多摩川河川敷の美化に努めた体育会の学生

千葉大会Vを報告

専大松戸高野球部

第97回全国高校野球選手権大会(阪神甲子園球場)に初出場する専修大学松戸高校の小泉毅校長、持丸修一監督、岡本良樹主将(3年)が7月29日、神田キャンパスを訪れ、千葉大会優勝を報告、甲子園での活躍を誓った。日高義博理事長、矢野建一学長、小宮多喜次校友会長らに拍手で出迎えられた3人は笑顔で優勝を報告。

常総学院など茨城勢3高を甲子園に導き、2008年から専大松戸高を率いる持丸監督は「昨年度の対外試合の勝率は9



▲ 専修大学を訪問し、甲子園での健闘を誓う小泉校長、持丸監督、岡本主将(左から)

多摩川河川敷ではNP O法人多摩川エコミュージアムと一般の方約30人も参加。前日までの雨で上流から多くのゴミが流されてきたこともあり、例年に比べ3割ほど多い量が回収された。

紹介した。「今年は本当にやってきた野球を、自信を持ってやり遂げたい」と千葉大会優勝メダルが輝く胸を張った。

松戸市から初の甲子園出場とあって、小泉校長は「市民の皆さんが大変喜んでくれています」と報告。「選手たちはグラウンド周辺の清掃を自発的に行うなど、建学の精神『報恩奉仕』を実践している。甲子園ではより高いところを目指してほしい」と語った。

日高理事長、矢野学長らは「全国の専大の仲間が応援しています」「優勝を目指して頑張ってください」と激励した。

9月に「一日大学生」高校生に講義を開放

法学部

法学部は9月21日(月・祝)、神田キャンパスで高校生とその保護者を対象に、「一日大学生」のイベントを開催する。

法学部の2〜5限目(午前10時45分〜午後6時5分)の専門科目の一部について、大学生と一緒に授業を受けることができる。科目は憲法入門、商取引法、刑事訴訟法など多岐にわたる。

オープンキャンパスでも体験授業を行っているが、実際の講義を高校生に開放するのは法学部では初めて。法学部は「大学生が法律の専門科目をどのように学んでいるか、直接触れるチャンス」と参加を呼び掛けている。

学生や教員とのフリートークイベントもある。参加無料、事前申し込み不要。当日午前10時から神田キャンパス1号館地下1階で受け付け。受付時に「一日大学生」学生証を発行する。問い合わせは教務課 ☎03・3265・5843